

平成25年度 第3回市長タウンミーティング概要

と き：平成25年4月14日（日）
午後10時30分～正午
ところ：南公民館
参加者：88人

○市長あいさつ

（市長より、平成25年度の施策・予算についての説明が行われました。）

○意見交換

質問（男性）

1点目、土地開発公社の借金は、市長就任時の77億円から14億円を減らしたという話がありましたが、今後はどのように減らしていく予定ですか。

2点目は、国からの地方交付税の交付が滞った時の対応についてです。昨年、蕨市としてどのように対処するかをお伺いした際、市長から、借金はせずに対応するとのお答えをいただきましたが、その件について、その後どうなっていますか。

3点目は、蕨の駅前にあるワンデイシェフレストラン「ぷらっと」についてです。人気がないとの話も聞いていますが、利用状況について教えてください。また、周りの商店街との取り決め等があるかと思いますが、午後2時から午後4時までクローズになっており、運営方法も工夫すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

回答（市長）

1点目の土地開発公社については、今年度も議会にご理解をいただきながら、順調に返済をしていく計画となっています。しかしながら、土地開発公社の借金残高は、現在、約59億円あり、特に高い値段で買った土地が残っています。これを返済するには、多額の費用がかかりますが、そのままにしておくと、元金は減らず、利息ばかりがかかってしまいます。利息は、皆さんの税金で負担をしていますので、なんとかこの借金は減らしていこうという考えのなかで引き続き、着実に取り組んでいきたいと思っております。

2点目の地方交付税については、昨年、国の予算がなかなか確定せず、予定

した時期に交付されなかったということもあり、全国の市町村では、借金をしてつないだというところがあったようです。蕨市は、財政調整基金などの貯金もありますので、借金せずに対応することができました。

3点目のワンデイシェフレストラン「ぷらっと」についてですが、市では、開設に当たり、一定の財政支援をおこないましたが、運営については、商店の皆さんで作っている「蕨にぎわいまちづくり連合会」（以下、「まち連」）が行っています。

ランチにつきましては、日替わりで市民の皆さんにシェフをやって頂く、ワンデイシェフとなっており、様々な方々に出店していただき、話題にもなり、多くのお客様に来ていただいていると伺っています。また、ワンデイシェフ以外につきましては、通常のレストランという形態となっており、お客さんの確保に苦戦しているようです。

現在、まち連で試行錯誤しながら運営しているわけですが、立地条件は良い所ですので、何とか頑張っただけだと私もお願いをさせていただいております。

質問（男性）

1点目は、蕨駅の西口で、「天下り反対」や「再開発反対」との市を批判している横断幕についてです。駅前で大変目立ち、あまり気分のよいものではありません。その看板について何とかありませんか。

2点目は、最近話題になっている憲法の改正と原発の問題についてです。市長としての所信を表明していただきたいと思えます。

回答（市長）

1点目の蕨の西口の駅前に、横断幕があるのは私も承知しています。これは個人の方が自身のお宅に貼っているという状況ですので、市、あるいは、再開発組合が対応できる問題ではありませんので、ご理解いただければと思います。

2点目の憲法については、市長である私も特別公務員であります。この4月に市職員を採用し、辞令交付を行いました。その際、「日本国憲法を守って、全体の奉仕者として仕事をしていきます。」と宣誓します。これは、どこの自治体でも行っており、そうしたことから、私は今の憲法にはすばらしい点がいっぱいあると思っています。

最後に、原子力発電所についてであります。いろいろご意見やお考えもあると思いますが、市政の直接の運営としては、蕨周辺に原発があるわけではありませんが、自然エネルギーの活用について、積極的に進めており、太陽光発電の補助金制度の創設や衛生センターの発電している余剰電気の売払いなどを

実施しています。

また、全国の市長で、「脱原発をめざす首長会議」が設立され、その会に私は市長として参加させていただいています。この会の代表を務めているのが、茨城県の東海村の村上村長、福島県南相馬市の桜井市長です。原子力発電所発祥の地の村長さん、大震災で大変苦勞されている市長さんが声をあげたということで、私も微力ですが、賛同し、ご協力させていただいています。

質問（男性）

今、全国的に騒がれています、自転車の安全走行の件ですが、蕨市としての対策並びに考え方はいかがでしょうか。

回答（市長）

蕨市は、交通関係団体の皆様のご協力などにより、死亡事故ゼロが600日以上続いており、先日、埼玉県知事公館で、昨年一年間死亡事故ゼロのまちとして、表彰されました。

しかしながら、蕨市は、自転車の事故比率が高いのが現状で、自転車の安全利用は、重要な課題となっています。そこで今年度は、近年、携帯をかけながらやメールを打ちながら自転車に乗っている若者が多いことから、若い世代の交通安全教室を徹底しようと、市内の三中学校でプロのスタントマンによる交通安全教室を開催することにしました。対象は、中学生ですが、学校のグラウンドで行いますので、地域の皆さんにもご覧いただきながら、自転車事故防止の啓発をしていこうと考えています。

また、自転車専用レーンという話を聞いたことがあると思いますが、専用レーンを作るには道幅が無いと厳しいわけですが、市内には市道だけではなく、県道など広い道が整備されているところもあります。そうした道路を利用し、少しでも自転車が車と歩行者と別に通りやすい工夫ができないだろうかということで、県にお願いするなどの努力もしています。

その他、錦町地域の区画整理の関係になりますが、今年、広い道路の整備を予定しており、その区間については、自転車専用レーンの計画があります。区域限定ではありますが、交通安全対策を進めていきます。

また、直接、自転車とは関係ありませんが、ゾーン30というものがあります。以前、川口市内で散歩中の保育園児の列にスピードを出した車が突っ込み、21人が死傷した悲惨な事故がありました。この事故をきっかけとして、生活道路について、速度30キロ制限を設け、ゾーン30と呼んでいます。この度、県警との協議の中で、蕨でも2箇所ゾーン30の指定をしようということで、

昨年、説明会をさせていただきましたが、南町の西川口に抜けていく県道の南側のエリアを含めて指定する予定となっています。更に、南町に隣接した戸田地域も指定する計画となっています。

質問（男性）

一昨年、東日本大震災の関係で、被災地に職員の方が行かれ、今年度は、一年間、山元町に行かれるということですが、その費用はどかが負担するのでしょうか。

回答（市長）

今回の職員派遣の例で申し上げますと、費用については、国が負担するということになります。職員の給与等は、蕨市が一旦、負担しますが、それを年度末に、山元町に精算していただきます。そして、その山元町に国から特別交付税が交付されるという形で、最終的には国の負担となります。この職員派遣は、知らない地で単身赴任となりますので、職員の居住は、山元町が借り上げるとともに、職員の定期的な報告・健康チェックを行うなど、本人の心のケアも含め、きちんと仕事ができるような体制づくりをし、派遣をしています。

質問（男性）

南町には蕨の誇る桜並木があります。その桜並木に一箇所だけ植え込みがないところがありますので、そこにも植え込みを作ってほしいと思います。

回答（市長）

植え込みがない箇所につきましては、樹勢回復のため、低木をすべて取り払い、施肥を施し、空気を土中に送り込む作業をしているところであり、このようなことから、植え込みをしていない状態となっています。

質問（男性）

今年度、中軽度の難聴児に対して補聴器の購入補助が創設されましたが、年寄りでも補聴器が必要な人はたくさんいると思いますので、高齢者の方に対する補助制度も検討していただきたいと思います。補聴器は決して安いものではないですから、買うとなると二の足を踏む人もいます。高齢者も、補聴器が手に入れば、会話もスムーズになり、個人としては良い事がたくさん

あるのではと思いますので、ぜひ検討いただきたいと思います。

回答（市長）

これまで、障害者手帳交付の対象とはならず、軽い難聴があるお子さんについては、補助の対象となっておりませんでした。中軽度の難聴のあるお子さんについては、そのまま放置しておく、言語の習得や学習に支障を生じることも考えられ、早期ケアが必要となってくることから、今年度、中軽度の難聴児の補聴器の購入補助を実施したところです。

高齢者の方につきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思いますので、ご理解いただきたいと思います。

質問（女性）

南小の体育館の耐震化が終了し、今年度は、中央東小など何校か体育館の耐震化が実施されると伺っています。この度の工事では、冷暖房を完備していないとお聞きしました。市民体育館も冷暖房が完備されていませんが、避難場所として考えた時、これから実施する体育館の工事については、冷暖房を完備すべきと思いますがいかがですか。

回答（市長）

体育館に冷暖房をつけるというのは、蕨市だけではなく、ほとんどの自治体でそこまでできないというのが現状です。校舎については、小中学校に冷暖房を入れましたが、全国的には、教室にさえ冷房が入っていないところが多く、そうした状況ですので、今回、大規模改修をいたしました。冷暖房の対応については大変難しいものと考えています。

また、市民体育館についても、新しい施設には冷暖房が付いているところがありますが、古いもの、特に3階のアリーナはものすごく広いので、後付けするというのは相当な工事になります。

実現したい事はたくさんありますが、予算に限りがあり、優先順位もありますので、やむを得ない選択だと、ご理解いただければと思います。

しかしながら、今回の体育館改修工事で、網戸を設置させていただきました。これまで、南小の体育館の裏は、虫がすごくて、窓を開けられなかったが、今回の網戸設置により、風通しが良くなったという報告を校長先生より受けています。

質問（男性）

学校土曜塾を25年度から開始するというのですが、その背景と具体的にどのようなことを実施するのか教えていただきたいと思います。

回答（市長）

背景についてであります。まず一つは、学校五日制、土曜日にも完全に休みとなり、子供たちの土曜日の過ごし方が、塾に通ったり、スポーツ少年団などに入って、活発に活動している子どもたちのグループと、なんとなくゲームをして家で過ごしているようなグループと二極分化している印象があります。

土曜日の午前中に学校があった時分には、そのままの流れで午後、友達と遊ぶということがありましたが、丸一日休みだと、事前に約束していないと、気軽に遊べないというようなこともでてきています。特に、土曜日に活動できていない子どもたちの過ごし方をより豊かにしたい、可能な範囲で、そうした場を作ろうということが大きな背景です。

また、もう一つは、基本的には学習習慣を身につけるお手伝いをするということです。宿題を持参してもらい、分からない箇所について、先生のOBや、学習サポートしてくれる人が教えてあげるといったような形で進めていく予定です。小学校3年生から6年生を対象とし、おおむね月2回、隔週の午前中にやる予定です。これは、初めての事業でどのくらいの希望者がいるかわかりませんが、定員30名で学期ごとに募集をする予定です。

たくさん希望者がいて、選考せざるを得ないときは、2学期は1学期に参加した児童はそれをきっかけに自分で頑張ってもらい、別の児童に参加してもらおうなど、試行錯誤をしながらやっていく予定です。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。